

2020年8月31日

株式会社 山陰合同銀行

鳥取県立美術館整備運営事業に対する プロジェクトファイナンスの組成について

山陰合同銀行（頭取 山崎 徹）は、鳥取県が実施するPFI^{※1}事業である鳥取県立美術館整備運営事業（以下、「本事業」）に対し、当行をアレンジャーとして、地域金融機関等との協調によるシンジケーション方式のプロジェクトファイナンスを組成しましたので下記の通りお知らせします。

本事業は、1972年に①自然、②歴史・民俗、③美術の3分野を有する総合博物館として開館した鳥取県立博物館（鳥取市）について、施設の老朽化や収蔵スペースの不足が顕著になってきた状況下、これまで蓄積した美術作品や人的ネットワーク等を着実に引き継ぐべく、美術分野を新たに整備する鳥取県立美術館（倉吉市）へ移転させるものです。

鳥取県立美術館では、県民の宝である美術作品を適切に守り次世代へ伝えるとともに、国内外の優れた美術作品の企画展示や県内美術創作者等への発表機会の場の提供、次代を担う子どもたちの想像力や創造性を育むための「美術を通じた学び」の支援を目的とした美術ラーニングセンター機能の提供等が行われる予定です。

また、本事業は、PFI手法（BTO方式^{※2}）により、民間事業者の創意工夫やノウハウを活用し、美術館の整備、維持管理・運営を効果的かつ効率的に実施することで、県の産業振興や財政負担の削減を図るとともに、地域・学校・県民との連携協働を進め、地域資源や周辺施設との連携協力による賑わいづくりや街づくりに貢献していくことで、美術館の魅力のさらなる向上を図り、「未来を『つくる』美術館」を実現することを目的としています。

当行では、1999年のPFI法の施行時より、山陰を中心に各地でPFI勉強会を開催したり、先行案件に対する金融支援を実施したりするなど、長年山陰地域でのPFIの普及・発展に努めてまいりました。

当行は、社会資本整備という公共性の非常に高いPFI事業に対し、これまで蓄積した知見とノウハウを活かし、金融面から積極的に支援を行うことで、地域経済の活性化を通じた地方創生に貢献してまいります。

※1 PFI（Private-Finance-Initiative：プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）

公共施設等の建設、維持管理、運営等を、民間事業者の経営ノウハウ及び技術的能力、資金等を活用して行う手法。

※2 BTO方式

SPC（特別目的会社）が本施設の設計、建設（Build）を行った後、県に所有権を移転（Transfer）し、事業期間終了までの間、

SPCが本施設の維持管理・運営（Operate）を行う方式。

（次ページに続く）

記

1. 融資概要

- (1) 借入人：鳥取県立美術館パートナーズ株式会社
- (2) アレンジャー：山陰合同銀行
- (3) エージェント：山陰合同銀行
- (4) 参加金融機関：株式会社民間資金等活用事業推進機構
株式会社鳥取銀行
倉吉信用金庫
鳥取信用金庫
米子信用金庫
- (5) 融資総額：建設期間中のローン68.3億円、運営期間中のローン76.5億円
- (6) 契約形態：優先貸付契約（コミットメント期間付タームローン）
- (7) 契約締結日：2020年8月28日

2. 事業概要

- (1) 事業名称：鳥取県立美術館整備運営事業
- (2) 発注者：鳥取県
- (3) 事業者主体：鳥取県立美術館パートナーズ株式会社
(大和リース株式会社（代表企業、大阪府）、株式会社竹中工務店（大阪府）、アクティオ株式会社（東京都）、株式会社丹青社（東京都）、三菱電機ビルテクノサービス株式会社（東京都）、山陰リネンサプライ株式会社（鳥取県）、富士総合警備保障株式会社（鳥取県）、株式会社懸樋工務店（鳥取県）、セコム株式会社（東京都）の出資により設立されたSPC)

3. 完成イメージ



画像提供：(株)楨総合計画事務所

以上